

学生担当者報10

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 中山祥吉 編集責任者 / 東井申雄

TEL 直通: 0743-63-2489 FAX 0743-62-5780 E-mail tsa@tenrikyo.or.jp

TSA Website <https://tsa.tenrikyo.or.jp> Happist <https://happist.net>

Vol. 476

立教 189 年

2026 年

9 月 25 日発行



今年も11月25日に第二食堂にて、学生担当者大会が開催されます。毎年恒例というのは、来てくれる人に日時やその行事の趣旨を言わなくても認知してもらえらるという良い面もあれば、その行事が形式的になり形骸化してしまうという面もあります。

私は泉大教会の担当委員長もしているのですが、今年の4月から新たに委員になった20代前半の子に「11月に学生担当者大会があるから行ってくれる？」と言うと、素直な彼は、「行きます」と言ってくれ、その後「学生担当者大会って何ですか？」と、当然の質問をしてくださいました。その時に、頭の中で担当者大会についてどの様に説明しようかと、色々と考えを巡らせました。良くない返答は「毎年この日にやってくるねん」とか「他の直属の人もいっぱい来るよ」という、恒例だからと

か同調圧力での誘い方だなと思いましたが、そうではなく、担当者大会が大切だからこそ行ってもらいたいという事を伝えなければいけないと思ひ、そもそも担当者大会の趣旨や強みは何だろうかと考えました。『活動方針』の冊子を見てみると、学生担当者大会のページには「学生担当委員会の総会と位置づけられるものです。学生層育成に携わる者が一堂に会し、育成の機運を高め、一手一つに積極的な活動推進を誓い合います。」とありました。そこで、その彼には「日本中から学担している人が集まって、学生にこのお道の信仰の素晴らしさを伝えるんだって気持ちを一にする、めっちゃ熱いと、本当に素直な彼は、前よりも元気な声で「はい！行きます!!」と言ってくれました。

今年の担当者大会では、表統領先生のお話で育成に対する機運を高め、委員長の挨拶で、活動方針に揭げている、学生たちが真にたすかるこの道を共に歩んでくれる事を夢見て、私たち育成者が一手一つの心になり、それに加えて、今年は総会の意味合いも意識し、書面での一年間の活動報告と、イケてる動画での活動紹介ムービーもあります。

その日は、10年以上学担をされているベテランの方も、今まで学生会に全く関わった事もなく、最近学担になったという人も、学生がたくさんのいる教区の方も学生会がない直属の方も、いろいろな立場や考え方の人が、一人でも多く担当者大会に足を運んでいただき、学生が共に真にたすかるこの道を歩んでくれるよう、まず担当者の私たちが手を取り合い、心を一つにさせていただきたいと思ひます。

「学生担当者大会って？」

担当者活動部 委員

西川 寿一

お知らせ

十月例会

期日…立教189年10月25日
時間…15時30分受付 16時開始
会場…教庁4階講堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内

教区
・岡山 10月2日 教務支庁

報告

八月例会

去る8月25日、教庁4階講堂において「8月例会」を開催。出席は35教区、90直属。

各地の動き

教区学生層育成者講習会

・佐賀 9月2日 教務支庁 佐村陽一委員出向

直属学生層育成者講習会

・芦津 9月23日 大教会 中山祥吉委員長出向

・津 9月23日 大教会 松森芳夫委員出向

人事

《立教189年8月25日付》

【直属学生担当委員長辞令交付】

・根田治彦（紀陽・紀ノ倉）

業務記録

《立教189年8月16日～9月15日》

8月19日 事務局連絡会
25日 委員会

学修部部会

人材育成部部会

担当者活動部部会

学生部部会

広報部部会

例会

9月5日 係員チーム会議

広報部部会

6日 学修大学の部研究室

学修高校卒業生コース研究室

人材育成部部会

7日 部長会

委員会

学修高校の部研究室

広報部部会

8日 まなびばチーム会議

10日 事務局連絡会

立教 189 年 学生担当委員会 活動方針

「真にたすかるこの道を、共に歩もう」

「立教百八十九年 学生生徒修養会
高校の部」カウンセラー感想文

私は初めてカウンセラーとして、班の 3 年生にひたすら向き合う 5 日間を過ごさせていただきました。事前研修後の 1 ヶ月間、私は「神様と向き合う」をテーマに掲げ、日常から親神様のご守護を感じて感謝する理づくりに取り組んで学修本番を迎えました。

初日に出会った班員を一言で表すなら「バラバラ」。移動中、前後に伸びた班のフォロワーや消えた班員の搜索、不機嫌な男子と怖がる女子、一体感からは程遠い状況でした。転機は 2 日目、親神様のお話から「互い、立て合い、たすけ合い」を班の目標に決めたことです。残りの期間で頑張りたいことを一人ひとり発表し合い、教祖の前でお誓いし、全員で円陣を組んだことで、向かうべき心が一つに定まりました。3 日目の「プレゼン to」でもご守護について語り合い、絆を深めることができました。

しかし 4 日目、大きな「ふし」を見せ

ていただくことになります。乗り越えるため班長の A 君と膝を突き合わせ、時間をかけて心の内を聴きました。実は、2 日目にリーダーシップのある B 君が「班長をした」と申し出た際、A 君は譲ろうとしました。しかし私は、勇気を出して一番に名乗り出た A 君の成長を願い、そのまま任せる道を選びました。B 君には副班長を担ってもらい、「なってくる理」を信じていました。劣等感に悩む A 君に「自分のペースでいいから、班のために何が出来るとか動こう」と心を込めて伝えました。

「ふし」を機に腹をくくった A 君は、見違えるほど立派に成長してくれました。私自身も至らなさをお詫びし、寮長先生から温かいお言葉をいただいた時、涙が溢れ出しました。

5 日間を通して痛感したのは、「向き合った分だけ親神様は大きなご守護を下さる」ということです。苦悩もすべて自分を育てる尊い財産となりました。この感謝と学びを胸に、次の出会いを楽しみに前を向いて歩んでいきます。

「立教百八十九年 学生生徒修養会
高校の部」受講生アンケート

1 年生男子
楽しかった！友達もできて、お道の教えがどれだけ大切かわかった。これからある学修全部に参加しようと思った。

1 年生男子
とても楽しく、初めて天理教を知るきっかけになった人もいたのでとても良かった。部活などでも「互い、立て合い、たすけ合い」を実践したいと思います。

1 年生女子
初めて学修に参加してみて、教えや知らないこともたくさん知ることができた。人との向き合い方なども知れて人としても成長できた。帰ってから、何事も感謝することを忘れずに人助けの心で生活していきたい。

1 年生女子

最初はとても緊張して不安な気持ちでいっぱいだったけど、初日から班のみんなと仲を深めて、今では気軽に話し合えることができて本当に良かったです。これからは感謝の気持ちを伝えるために、積極的におつとめをしていきたいです。

1 年生女子

最初はとても緊張してたけど、入った時にスタッフさんが「おかえりなさい」と言っていてくれてほぐれた。色々な逸話や先生方の話を聞いて、自分だけがつらいわけじゃないし、そういうことは今につながってるんだなと感じた。

2 年生男子

天理教についてや感謝することの大切さを学んだ。これからは人に感謝して物事をプラスに考えるようにしたい。また、おつとめの時に感謝と楽しかったことなども報告したい。

2 年生男子

やっぱり今年も最高で、班のメンバーやカウンセラーが色とりどりで最高でした。心を明るく毎日感謝を忘れずに通りたいと思う。

2 年生女子

学修を通して今あるもの、今置かせていただいている環境、不自由なく体を使わせていただけることに改めて感謝する大切さを学びました。おぢばは本当に温かく不思議で大好きな場所です。

2 年生女子

私は天理教ではないから、教えに関わる機会は少ないけど、少ないからこそ自分から教会に足を運んだり、ゴミ拾いとか靴並べとか小さなことから始めようと思った。

2 年生女子

人と話すことの大切さを学びました。最近スマホが盛んになり話す機会が減ってしまった今だからこそ、しっかりと自分の意

3 年生男子

学修に来て学んだこと（おつとめや心の通り方など）を心に頑張っていきたい。おつとめなどの意味、やりがいを持っていきたい。教会長になれるように頑張る。

3 年生男子

学んだことは人を思いやる大切さ。それがみんな出来れば回り巡って自分に返ってくると思うから人を思いながら行動したい。天理のみんなサイコー！

3 年生男子

今年で最後だけと来年も参加したい。人に優しく、心は広く、ひながたを通り、日ごろの感謝を忘れない。